

青少年相談員会報

令和4年3月15日発行

第93号

さがけ

発行 水戸市青少年相談員連絡協議会（事務局 水戸市教育委員会事務局教育部生涯学習課 ☎029-306-8692）



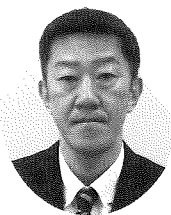
水戸東照宮創建400年記念 水戸御祭禮行列

地域の力で

青少年を見守る大切さ

水戸市教育委員会事務局教育部生涯学習課

課長 湯澤 康一



令和3年4月より生涯学習課長として就任いたしました。どうぞよろしくお願いたします。

情報化の急速な進展や、新型コロナウイルスの感染拡大等、社会や日常生活の変化に戸惑いを感じている青少年が沢山いることと思います。このような困難な状況だからこそ、学校や家庭、地域が協力しながら青少年を支えていくべきだと考えます。

青少年相談員の方々は、一年を通して、水戸駅周辺や各地域を見回り、青少年が誤った道へ進まないように声掛けをしてくださっています。そういった活動が、青少年の非行やいじめを防ぐことに繋がっています。水戸市青少年相談員連絡協議会 白田茂司会長をはじめ青少年相談員の皆様による活動が、青少年を正しい道へ導いてくださっている事を心より感謝申し上げます。

街頭での声掛けで大変ご苦労をいただいておりますが、「地域の絆」づくりのために、そして、水戸の青少年たちの健全育成のために、これからも子どもたちを温かく見守っていただきますようお願いいたします。

# 青少年相談員活動と連絡協議会

水戸市青少年相談員連絡協議会 会長 白田 茂司



令和3年度定期総会にて、立川力前会長の後任として会長という大役の命を任せ職責の重大さに身の引き締まる思いであります。

『青少年相談員連絡協議会とは？』青少年相談員によって組織され相談員相互の連携協調を図るとともに、青少年の健全育成と非行防止に資することを目的とし、補導業務の向上に必要な調査研究、相互の連絡情報交換、ならびに研修及び会議を行う』と定めています。具体的に主な活動・内容として

1 補導活動  
水戸駅周辺の中央補導・各地区内を巡回する地区補導・黄門まつりや成人式などの特別補導を行います。各地区の教職員との情報交換を行うとともに、下校の見回りをし生徒たちの顔見知りの先生が同行することによって声掛けがスムーズに行えます。

3 研修会・会議等の開催・参加  
県・市主催の青少年の主張大会や第3ブロック会議、企画運営部会による全体研修会・視察研修部会による県内外の相談員との情報交換会や青少年施設の視察、市内7地区の地区別研修会などを行い指導業務の向上を図っています。

2 市内の学校・各団体からの委嘱  
小・中学校、高等学校から教員を1名ずつ委嘱。また各種団体（PTA・育成会・民生児童委員：等）多くの団体から推薦し

4 青少年健全育成に関する広報活動・環境浄化活動  
社会を明るくする運動・薬物乱用防止などのキャンペーン参加、広報部会による広報紙の発行。青少年の健全育成に協力する店の登録活動により青少年相談員活動の理解を得られ、また地域店舗との情報交換や協働体制づくりに役立っています。様々な活動を行っている青少年相談員ですが、青少年とのより良い関わりを築くために皆さまと共に日々研鑽を積みみたいと考えます。

## 令和3年度水戸市青少年相談員連絡協議会役員名簿

(順不同・敬称略)

役職名	地区	部会	氏名	所属	役職名	地区	部会	氏名	所属
会長	三中		白田 茂司	民間有志	幹事	三中	地区長	福田 清江	民間有志
副会長	三中		萩谷 ふみ江	民間有志	幹事	三中	副	田寺 克年	民間有志
副会長	二中		齋藤 直哉	二中学区青少年育成会	幹事	三中	副	小坏 明美	民間有志
監事	緑岡中		岡崎 充芳	民間有志	幹事	緑岡中	地区長	茂垣 恵美子	民間有志
監事	緑岡中		松下 恵子	民間有志	幹事	緑岡中	副	竹林 雅子	民間有志
書記	緑岡中		岩間 幸一	民生委員児童委員	幹事	緑岡中	副	岩間 幸一	民生委員児童委員
書記	一中		増子 正子	民間有志	幹事	赤塚中	地区長	齊藤 陽子	民間有志
会計	赤塚中		大森 ますみ	民間有志	幹事	赤塚中	副	菊池 清志	民生委員児童委員
会計	内原中		宮本 明美	民間有志	幹事	赤塚中	副	大森 ますみ	民間有志
幹事	一中	地区長	川島 隆	水戸西ライオンズクラブ	幹事	常澄中	地区長	生井沢 康代	民間有志
幹事	一中	副	飯村 かほる	民生委員児童委員	幹事	常澄中	副	山崎 孝位	民間有志
幹事	一中	副	増子 正子	民間有志	幹事	常澄中	副	七川 幹子	民間有志
幹事	二中	地区長	池田 清美	民生委員児童委員	幹事	内原中	地区長	宮本 明美	民間有志
幹事	二中	副	鈴木 弘美	民間有志	幹事	内原中	副	浅井 聡	民間有志
幹事	二中	副	三塚 富子	民生委員児童委員	幹事	内原中	副	船山 悦子	民間有志

※企画運営部会……7名 広報部会……7名 視察研修部会……7名

### 事務局職員紹介

事務局職員について、令和3年度は次のとおりです。

水戸市教育委員会事務局  
教育部生涯学習課

課長 湯澤 康一  
課長補佐 島田 顕範  
青少年育成係長 鎌田 洗一  
担当 飯田 真弓

〒310-8610 水戸市中央1-4-1

水戸市役所 3階

電話：029-306-8692 (直通)

FAX：029-306-8693

Eメール:seisyounen@city.mito.lg.jp

### 〈水戸市青少年相談員連絡協議会 組織図〉

水戸市教育委員会事務局  
教育部生涯学習課

水戸市青少年相談員連絡協議会

地区別相談員

○事務局

〒310-8610  
水戸市中央1-4-1  
TEL 029-306-8692  
FAX 029-306-8693

役員

会長 1名  
副会長 2名  
書記 2名  
会計 2名  
幹事 2名  
幹事 18名

広報部会  
視察研修部会  
企画運営部会

一中地区  
二中地区  
三中地区  
緑岡中地区  
赤塚中地区  
常澄中地区  
内原中地区

# 令和3年度 地区定例会及び研修会

## 一中・赤塚中・内原中地区

齊藤 陽子

7月29日、水戸市福祉ボランティア会館にて、参加者32名を迎え、第1回3地区合同の地区定例会及び研修会を開催しました。今回は新任研修会も兼ねて行いました。

新任研修会では、補導時の声掛けをする時の注意事項、会話する時の姿勢、立ち位置などDVDを視聴し、相談員の概要、補導状況、不審者情報について事務局の担当の方から説明がありました。

意見交換では、過去の行動がSNSで取り上げられ大役を辞任したニュースが話題に挙がりました。大人になり恩返ししたいと思っても出来ない、恐さを感じる、今頑張ってもダメなのか等様々な意見がありました。とても難しい問題です。まとめる事は出来ませんが、問題と共有すると言う点で良かったのではないのでしょうか。新任研修が中心となりましたが、新人の頃の緊張感を思い出しました。

## 二一中地区

池田 清美

12月20日、二一中地区定例会及び研修会を開催しました。

年末の忙しい中、参加者は少数でしたが、熱心な意見交換が出来た時間でした。

まず、街頭補導のルート見直しの提案がありました。中央補導と二一中地区補導のルートが、駅前周辺と重なっているため、泉町五軒町方面の補導を追加し、実施することに

なりま  
した。  
また、  
補導の  
際、店  
の方へ  
の挨拶  
や子ど  
もたち  
への声  
掛けの  
姿勢に  
ついて



話し合い、共通理解を深めることが出来ました。

次に、ペDESTリアンデッキでのスケボー等の禁止について、ただダメダメと言うのではなく、もっとも良い場所を提示してあげたいとの意見も出されました。

今後とも青少年の身近な相談員でありたいと思います。

## 三中・常澄中地区

生井沢 康代

7月28日、城東市民センターにおいて23名の出席を得て、令和3年度地区定例会及び研修会を開催しました。

はじめに、新任研修会として、青少年相談員の心構えに関するDVDを新旧相談員全員で視聴し、青少年の健全育成について、参加した全員が認識を新たにしました。その後、情報交換を行い、地区の様々な特性や問題点について活発な意見が交わされました。

これまでも常澄中ブロックと三中ブロックは地区定例会で情報交換等を通じて連携してきましたが、昨今のコロナ禍で相談員としての活動が著しく制限される中、隣接する地区の相談員が相互に連携し

て活動することの重要性を再確認するとともに、現在できる範囲での街頭補導や声掛け活動に取り組みたいと思います。

## 緑岡中地区

茂垣 恵美子

緊急事態宣言の中、日程が決まらず12月3日の開催になってしまいました。お忙しい中、地区定例会及び研修会に11名の参加をいただきました。

研修のDVDでは、「相談員になって良かった。子どもたちに注意する事が出来るから」とありました。でも私は、注意するのではなく声掛けだと思っています。注意するとしても口調がきつくなりますが、声掛けなら気軽に穏やかな言葉掛けができます。

改めて今までの補導活動を見直す事が出来ました。

情報交換では、中央補導では万引きの問題や、地区からは、不審者情報が多く下校時には家の近くでの見守りが益々必要であるなどの意見が出ました。又、自転車の乗り方やヘルメット着用についても、話がありました。

# 令和3年度 青少年相談員実務研修会

令4・1・22

企画運営部会 部長 大森 ますみ

新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、残念ながら会場での入場講演を取りやめ、同日録画をし、後日YouTubeで配信することにいたしました。

茨城県警察本部生活安全部少年課課長補佐、少年サポートセンター水戸警部和知典重氏より、「非行防止教室・薬物乱用防止教室」をテーマに講演をいただきました。

近年の少年非行の現状やSNSに潜む危険。その中でも大麻などの薬物での検挙が多いことを聞き、SNSの普及は若者が安易に手に入れやすい環境を作り出しているのかも知れないと感じました。

## 茨城県青少年相談員連絡協議会

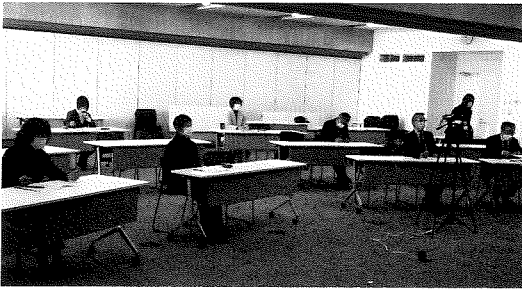
### 第3ブロック研修会 令4・1・22

昨年と同様に各市町村の会場をオンラインで繋いでの開催となりました。

「茨城県青少年の健全育成等に関する条例」について  
講師に茨城県保健福祉部子ども政策局青少年家庭課青少年・母子福祉担当堀美季氏より、条例の全構成の第1章〜第5章の中から、

また、SNS上で被害者になっている事案も多く、個人情報流出や自画撮り被害、性犯罪に巻き込まれるなどがあること。

これは大人の私たちが防げるはずでは？と、親としても子どもと向き合うべきだと感じました。



私たち大人が努めなければならぬ責務・青少年の健全な育成に関する施策・青少年の健全な育成を阻害するおそれのある行為の規制などを抜粋してお話いただきました。

続いて、茨城県保健福祉部子ども政策局青少年家庭課青少年指導員上田伸男氏より、相談員の活動

# 社会環境向上研修会

令3・12・18

講演 「幕末維新の志士たちが水戸の教えから学んだもの」 渋沢栄一を中心に

講師 清真学園教諭 稲葉 寿郎氏

西郷隆盛や吉田松陰など幕末の多くの志士たちが、「水戸学」に大きく影響を受けていたという事をご存知でしょうか？

「水戸学」という学問は、江戸時代水戸藩において発達した独特の学風です。「大日本史」の編さんを通じて形成され、第9代水戸藩主徳川斉昭の元で、尊王攘夷思想を発展させ、明治維新の思想的原動力になったと言われています。

渋沢栄一も、幼少の頃から「水戸はすごいぞ」と言っていた従兄の尾高惇忠の元で学び、次第に水戸へ心酔していったようです。

農民だった栄一にとっても水戸学は心に響き、後に提唱した「道徳経済合一」の原点も、水戸の教えにありと言われています。

こんなにも多くの人に影響を与え、日本を大きく変えることになった「水戸学」を、今からでもしっかり学びたいと思いませんか？(小坪)



について、①街頭などにおける声かけ相談活動。②普及啓発活動・社会環境健全化活動。③青少年の安全確保などについてお話しいただきました。(齊藤)

### 編集後記

今年の成人式はとりながら開催されました。

4月より18歳は成人・大人となります。喫煙・飲酒・賭事は20歳からですが、親の同意がなくても様々な契約ができるようになります。女性の結婚可能年齢も18歳に引き上げられました。子ども達が、「成年とは」をどのようなように理解しているのか、また、それに伴い少年法も改正されたので私たち大人も今までの違いを学習し理解が必要だと思えます。(齊藤)